

3年 単元名「わたしたちの海を守ろう ～小木のきれいな海をのこそう～」(18時間)

～海に親しむ・海を知る・海を守る～

1 単元設定の理由

身近な海の環境を調べ、美化する方法を考え実行することでふるさとを大切にしていこうという気持ちを育む。

2 単元目標

身近にある海が、かけがえのないものであることに気づくとともに、海の環境を知り、守るために自分たちができることを考え実践しようとする。

3 単元の評価規準

	学習方法に関すること	自分自身に関すること	他者や社会とのかかわりに関すること
評価規準	①海岸の環境に興味を持ち,主体的に漂流物を拾ったり,調べたり,海の美化活動のために,課題を見いだしている。 ②課題について必要な情報を適切に収集し,計画的に調べている。 ③調べたことや考えたことを,相手意識を持って,分かりやすく表現している。	④海の環境を美化するために活動している。	⑤課題解決するために,関係する専門機関の方や友だちと,共同して活動している。

4 単元の指導計画

時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1	小木の海の環境について話し合う。 ・小木の海の環境について、磯観察や普段の生活の経験をもとに話し合う。	
2 └ 6	海の環境を調べる方法について考え、調べる。 ・東町の海岸でごみの収集を行う。 ・集めたごみを種類ごとに分別する。	・ごみの分別作業では危険が伴うので、海上保安署の方に協力をお願いする。
7 └ 9	海をきれいにする方法考える。 ・ごみの分別活動を通してわかったことをまとめる。 ・海をきれいにするために自分たちにできることを考える。 ・きれいな海を守りたいという思いを伝える方法を考える。	
10. └ 18.	九十九湾の美化を呼び掛けるために、ポスターとチラシ(ティッシュに入れる小さなもの)制作に取り組む。 ・海岸の調査を通して自分たちが持った思いを、ポスターとチラシに表現する。 ・制作したポスターとチラシを家庭や地域の人に配る。	

外部連携／教材等

・能登海上保安署 ・小木地区のお店・クリニック等

5 活動の様子



東町海岸でのごみの収集



分別したごみ



ポスター制作・配布

6 成果・課題

- 実際に海岸へ行ってごみを集めたことで、海の環境問題が自分たちにとってより身近な問題だと感じることができていた。
- 海岸清掃を何度も行っている5年生とともに活動したことで、初めて海岸清掃を行う3年生にも収集・分別の活動がスムーズだった。
- 海上保安署の方々に協力をお願いし、ごみの調査活動を行った。海岸に落ちている危険物についての事前指導をしていただいたことで、安全に活動ができ、児童の安全面への意識を高めることもできた。なお、安全の確保のために軍手を着用した。
- ▲例年、海の環境保全を地域住民や観光客に向けて、イカす会（5月頃）にて呼びかけている。学年をまたいだ活動になるため、指導計画や方法を検討する必要がある。

7 子どもたちの反応やミニ感想

- ・ごみ拾い、ごみ調べをしました。さびているごみは、遠いところから来たことが分かりました。小木の海がきれいになってとってもうれしかったです。
- ・ごみがたくさん落ちていました。町にポイすてされたごみが、川をつたっていつか海に流れることが分かりました。ごみのせいで、生き物がけがをしまうのはいやだと思いました。
- ・みんなでごみをすてないようにして、みんなで海の生き物を守りたいです。
- ・ごみ拾いをして、りょうしさんが使ったひもが多くてびっくりしました。魚たちが人が捨てたごみを食べるかもしれないから、きれいにしたいと思いました。
- ・心をこめてポスターを作りました。貼ってもらえるといいです。